

SHORTSHORTS

FILM FESTIVAL & ASIA OSAKA 2014
ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 大阪 2014
米国アカデミー賞公認国際短編映画祭
A Qualifying Film Festival for the Annual Academy Awards

グランフロント大阪 知的創造拠点「ナレッジキャピタル」

大阪から新しいショートフィルム文化を発信！

米国アカデミー賞公認 アジア最大級国際短編映画祭

『ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 大阪 2014』開催
～1F「カフェラボ」で期間限定コラボメニューが登場、新しいショートフィルムの楽しみ方を提案～

開催期間：2014年7月18日(金)～21日(月・祝)

開催場所：グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル4F「ナレッジシアター」

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原秀夫)および株式会社 KMO(代表取締役:間瀬豊)は、グランフロント大阪北館4F ナレッジキャピタル「ナレッジシアター」において、2014年7月18日(金)から21日(月・祝)までの4日間、米国アカデミー賞公認国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 大阪 2014」を開催します。

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)は、新しい映像ジャンルである「ショートフィルム」を日本に紹介するため、俳優の別所哲也が立ち上げたもので、1999年に東京で誕生し2014年で16周年を迎えました。2004年には米国アカデミー賞公認映画祭に認定され、アジア最大級の国際短編映画祭へと成長しています。大阪ではナレッジキャピタルが主催となり、「新たな価値の創出」というナレッジキャピタルが掲げるコンセプトと親和性の高い映画祭として、開業1年目の2013年から開催しています。



今年の「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 大阪 2014」では、「Style of Cinema」をテーマに、約20の国と地域から集められた作品から、1日5プログラム、約70作品を上映します。フェスティバルアンバサダーに就任した映画コメンテーターのLiLiCoさんも、開催期間中に来場し映画祭を盛り上げます。さらに、ナレッジキャピタルの独自プログラムとして「ROBOT プログラム」と「初音ミク ショートフィルムプログラム」の2プログラムを上映します。

また、ナレッジキャピタルならではのショートフィルム鑑賞スタイルの提案として、1F「カフェラボ」では、7月1日(火)から21日(月・祝)までの期間限定で、今の自分の心が求める感情を満たすドリンクとショートフィルム視聴がセットになった「ショートショートセット」を販売します。「元気」「怒」「泣く」「恋」「笑う」を表現したドリンクと、そのテーマに添うショートフィルムをタブレットでご覧いただき、映画を見て心が動かされる体験をしていただけます。

ナレッジキャピタルでは、この映画祭の5年間での成長ビジョンを掲げ、独自性をさらに発展させることを目指しています。本映画祭を通じ、大阪・関西からショートフィルム鑑賞文化の普及によるムーブメントを起こすという「文化発信」「国際交流」に加え、今後は、映像表現、映像創造等のコンテンツビジネスの事業化による「産業創出」や、その分野における「人材育成」を推進し、映像コンテンツにおける新たな価値を付加して発信してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人ナレッジキャピタル 担当:古市、山本

TEL : 06-6372-6427 FAX : 06-6359-2970 URL : <http://kc-ijp/>

本報道資料は、大阪建設記者クラブ、大阪経済記者クラブ、大阪商工記者会、関西レジャー記者クラブへ配布しています。

※2014年7月17日(木)17時より、報道関係の皆さまおよび関係者向けのフェスティバル発表会を予定しています。詳細については、あらためて7月初旬にご案内いたします。

<開催概要>

名称	: ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 大阪 2014
開催日程	: 2014年7月18日(金)～21日(月・祝) ※1日5回、計20回上映予定
開催会場	: グランフロント大阪北館4F ナレッジキャピタル「ナレッジシアター」
料金	: 1日入場券 500円(税込み)
主催	: 一般社団法人ナレッジキャピタル、株式会社 KMO
企画・統括	: ショートショート実行委員会
協力	: 一般社団法人グランフロント大阪 TMO、MBS
協賛	: 宝酒造株式会社、docomoOSAKA(NTTドコモ)他
後援	: 大阪府、大阪市、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会、大阪商工会議所、公益財団法人関西・大阪 21世紀会、大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会、一般社団法人デジタルメディア協会、一般財団法人デジタルコンテンツ協会、日本映像学会、特定非営利活動法人映像産業振興機構、FM802、FM COCOLO、FM OSAKA
URL	: http://kc-ijp/shortshorts/
一般お問い合わせ先	: 06-6372-6530 (受付/平日 10:00～18:00)

<上映プログラム(予定)>

	7/18(金)	7/19(土)	7/20(日)	7/21(月・祝)
10:30～12:10	受賞プログラムA	受賞プログラムB	受賞プログラムC	受賞プログラムD
12:40～14:20	アカデミー賞プログラム	スイス特集	カンヌプログラム	台湾・高雄映画祭プログラム
14:50～16:30	韓国・アジアナ国際短編映画祭プログラム	マエストロ&セレブリティショート	フランス映画祭	フットボールプログラム
17:00～18:40	受賞プログラムC	受賞プログラムA	受賞プログラムD	受賞プログラムB
19:10～20:50	地球を救え！プログラム	ROBOT プログラム ※大阪限定	マエストロ&セレブリティショート	初音ミクショートフィルムプログラム ※大阪限定

※ 上映時間は、招待監督等のアフタートークイベントの開催により、変更する場合があります。

受賞プログラムは、東京、横浜で開催された SSFF & ASIA 2014 オフィシャルコンペティション等の受賞作品から選定された作品を上映します。

ナレッジキャピタルの独自プログラムとして、「ROBOT プログラム」「初音ミクショートフィルムプログラム」を上映します。ROBOT プログラムは、『Always 三丁目の夕日』など数々の映画やCMを制作し、世界の映画祭でも高い評価を得ている制作会社「ROBOT」がセレクトしたプログラムです。初音ミクショートフィルムプログラムは、映像制作者が作品に込めた思いなどを語るトークも交えた、ボーカロイドの映像作品をセレクトしたプログラムです。

また、7月18日(金)午後、フェスティバルアンパサダーの LiLiGo さんによるトークイベントの開催を予定しています。



<上映作品例>



SSFF & ASIA 2014 グランプリ作品
『ホールインワインを言わない女』
 (A Lady Caddy Who Never Saw a Hole In One)
 監督: Yosep Anggi Noen / インドネシア / 14:11 / フィクション / 2013
 2億4000万人という世界第4位の人口をほこるインドネシアの光と影。ゴルフ場やリゾート開発を推し進める政府や大企業に問題提起した14分のショートフィルム。連続する緊張感の中、主人公の静かな怒りと狂気が垣間見える作品。2015年度の米国アカデミー賞短編実写部門のノミネート候補作品。
<受賞プログラムAにて上映>



第86回(2014)米国アカデミー賞短編実写部門受賞作品
『ヘリウム』 (Helium)
 監督: Anders Walter / デンマーク / 23:00 / フィクション / 2013
 重い病を抱える少年アルフレッドは、変わり者の清掃員エンツォが語る「永い眠り」の世界、魔法の国ヘリウムへの冒険を日々楽しみにしていた。ある日容態が急変し隔離されてしまうアルフレッド。エンツォは無事彼を送り出すことができるのか。
<アカデミー賞プログラムにて上映>



『007 スカイフォール』にて、ジェームズ・ボンドを支えるQ役に起用されたベン・ウィショー出演作品
『鼓動』 (Beat)
 監督: Aneil Karia / イギリス / 11:32 / フィクション / 2013
 16mmフィルムを使ってロンドン市内で撮影。街中を歩く男、彼は果たして何か目的があつての行動なのか。静と動の境界線を行ったり来たりしながら、絶望と幸福の狭間で揺れ動く一人の男の物語。
<マエストロ&セレブリティショートにて上映>



ベストアクトレスアワードを受賞した有村架純出演作品
『平穏な日々、奇蹟の陽』 (Light Along)
 榊原佑 / 24:59 / フィクション / 日本 / 2013
 東京でモデルの仕事が上手いかず地元に戻って来た紗季。花火大会の夜、高校時代に憧れていた同級生真美と偶然出会う。松葉杖姿の真美と「ある場所」に一緒に向かう事になり…。
◀受賞プログラムDにて上映▶



『KUDAN』
 制作者:木村卓 / 受賞: SIGGRAPH ASIA 2008 Jury Award 受賞 / 第12回文化庁メディア芸術祭 優秀賞 / ベルギーAnima 2009 Best Short Film 受賞 / 飛騨国際メルヘンアニメ映画祭 審査員特別賞 他
 あるところに会話の無い父子がいた。そんな父親のもとへ奇妙な仮面が届く。仮面を被った父親は別世界に連れていかれ、体が牛、頭が人間という妖怪「件(くだん)」に変身してしまう。件となった父親は子供が危険な状態にあることを知り助けようとするが…。
◀ROBOTプログラムにて上映▶



「初音ミクショートフィルムプログラム」
 東京で2013年より開催されているボーカロイドの映像上映イベントとのタイアッププログラム。2014年7月20日に東京で開催されるイベントの翌日に、本映画祭でよりすぐりの作品を上映。映像制作者のトークも交え、新しい創造文化を発信。
◀初音ミクショートフィルムプログラムにて上映▶

■「SSFF & ASIA 大阪」&カフェラボ コラボセット 『ショートショートセット』

「ショートショートセット」は、ナレッジキャピタルがお届けする、限定ドリンクとショートフィルムがセットになったショートフィルムを楽しむ新しい鑑賞スタイルです。今の自分の心が求める感情を「元気」「怒」「泣く」「恋」「笑う」の5つのテーマに設定されたドリンクの中から選び、テーマごとにセットされているショートフィルムで、心を満たしお楽しみいただけます。



※選んだテーマのショートフィルムを視聴できるタブレットを貸し出します。

提供期間 : 2014年7月1日(火)~21日(月・祝) ※8:00~23:00(ラストオーダー 22:30)
 店舗 : カフェラボ (グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル1F)
 価格 : 500~580円(税込み)

＜ドリンクメニュー＞

テーマ	ドリンクメニュー	価格 (税込み)	ドリンクコンセプト	ショートフィルム セレクション
『元気』	＜元気！を合言葉に＞ 小松菜グリーン スムージー EFミルク付	500円	元気になりたいあなたには、心も体も喜ぶショートフィルムとスムージーを。小松菜で気分爽快。	 「青春マンダラー！」
『怒』	＜怒るのは一生懸命の裏返し＞ ブラッディ・トマト・スカッシュ タバスコ付	500円	顔を真っ赤にして怒っているあなたにはタバスコをかかせたトマトスカッシュで発散！！	 「ある戦士たちの放課後」
『泣く』	＜泣いたら、気持ちが楽になるよ＞ フローズン・レモンブルー	500円	失恋や失敗を思い悲しい気持ちの時、すっぱいレモンのフローズンのせいにして思いつき泣いてしまっは？！	 「ありがとう。」
『恋』	＜もう一度、恋しよう！＞ 恋したい ストロベリーラテ	580円	ストロベリーホイップの甘みとエスプレッソの苦味が恋する気分。もう一度、恋にふみだしたくなるセット。	 「スマイルパス」
『笑う』	＜おもいっきり笑おう＞ まるごと！ドーナッツ・アイスカフェラテ	580円	どどん！とオールドファッションドーナッツをまるごと1個のせた見た目のインパクト抜群の笑えるアイ斯拉テを。	 「ニービチの条件」

■ボランティアスタッフによる映画祭運営サポート

ナレッジキャピタルでは人材育成の一環として、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 大阪 2014」の運営をサポートするボランティアスタッフを募集し、約20名の映画や国際的な交流に興味のあるボランティアスタッフが集まりました。会期中は、チケットやグッズ販売、誘導などのフロアスタッフ、通訳や外国人アテンダなどの語学スタッフ、記録撮影などを担う撮影スタッフに分かれて映画祭の運営を行い、ナレッジキャピタルとともに映画祭を盛り上げます。

<ご参考>

■昨年実績 「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2013 in 大阪」

開催日時：2013年7月19日(金)、20日(土) 1日5回、計10回上映

開催場所：グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル 4F「ナレッジシアター」



米国アカデミー賞短編部門のノミネート選考対象作品となるグランプリほか受賞作品を含む、3プログラム18本の作品を上映しました。初日は、映画祭代表の別所哲也氏が舞台挨拶に登壇。開催2日間で約2,000名が来場しました。ナレッジキャピタル1階「カフェラボ」では、過去のポスター展示や電子タブレットを使ったショートフィルム上映を行った、「SHORT SHORTS を楽しもう at CAFE Lab.」を実施しました。



■ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)について

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、俳優の別所哲也が1999年に立ち上げたもの。初年度は、映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映されました。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公式映画祭として認定され、2014年の開催で16周年。また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF ASIA 共催:東京都)」は11周年を迎えました。

現在、この2つの映画祭が“SSFF & ASIA”として同時に開催されており、アジア最大級の国際短編映画祭へと成長しています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館であるブリリア ショートショートシアターを設立。映画祭としては、2013年までに延べ28万人を動員し、日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げています。

「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014」 ※2014年の開催は終了いたしました。

<日程・開催場所>

2014年5月30日(金)～6月1日(日) ・表参道ヒルズ スペース オー(東京)

2014年5月30日(金)～6月15日(日) ・ブリリア ショートショート シアター(横浜)

2014年6月3日(火)～6月8日(日) ・ラフォーレミュージアム原宿(東京)

<SSFF & ASIA オフィシャルサイト> www.shortshorts.org